資料１－２

文化振興基本計画施策体系表

施策の柱	基本的な施策	主な施策概要	事業の具体例	ページ
①市民の自主的な文化活動の推進	ア　市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心，理解を深めるための普及啓発	◆市の文化施設での文化に関する講座，講演会等の開催	P.1
		【2】市民の鑑賞機会の提供	◆文化団体との連携による鑑賞機会の提供 ◆市の文化施設での公演事業の実施 ◆市立図書館での展示事業の実施 ◆市立美術博物館での美術作品の展覧会の開催，文化に関する資料等の展示，展覧会等の開催 ◆谷崎潤一郎記念館，富田砕花旧居での文学資料に関する展示，展覧会等の開催	P.2 ｜ P.3
		【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	◆芦屋市展の開催 ◆文化団体の創作，発表等の活動への助成等による支援 ◆伝統芸能，舞台芸術作品等の公演などへの共催による支援 ◆市の文化施設での創作，練習，発表等の活動の場の提供 ◆市の文化施設の利用環境の整備	P.3
		【4】文化活動に関する情報の提供	◆広報紙，ホームページ等様々な媒体による文化活動のための情報の提供	
	イ　高齢者，障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者，障がい者等の文化活動の充実	◆市の文化施設のバリアフリー化の推進 ◆市の文化施設での託児支援等の取組 ◆市の文化施設での高齢者，障がい者の観覧料等の軽減	P.4
	ウ　青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	◆市の文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施 ◆市立図書館での絵本展示等の実施 ◆市立美術博物館での人形劇の実施	
		【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	◆市立図書館での子どもや親子を対象とした読書に親しむための事業の実施 ◆市立美術博物館での文化を体験する機会の提供や体験型ワークショップの実施	P.5
	エ　学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	◆学校への芸術家等派遣事業の実施 ◆本物の舞台芸術体験事業の実施 ◆学校と文化施設，芸術家等や文化団体と連携した教育の推進 ◆子どもの文化活動を支援する人材（ボランティア）リストの作成	
	オ　人材の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	◆市民絵画展，芦屋市展，芦屋市造形教育展の開催	
	カ　文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援，連携の推進	◆文化団体の活動に対する後援 ◆文化団体相互の連携の促進 ◆市の文化施設での社会教育関係団体等の使用料の軽減	P.6
②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア　地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発，鑑賞機会等の提供	◆歴史を学ぶ機会の提供 ◆伝統的な文化に触れる機会の提供 ◆市の文化施設での能・狂言などの伝統芸能にかかわる公演の実施，発表機会の確保 ◆市の文化施設での地域の歴史・文化などの講座，講演会や資料展示の充実	P.7
		【12】文化財保護の充実等	◆文化財の保存・整備と活用 ◆文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施 ◆市立美術博物館での文化財等に関する資料の収集，保管，展示及び研究 ◆広報紙，ホームページ等による文化財に関する情報の提供	P.8
	イ　国内及び国外との交流の促進	【13】国際交流の推進	◆海外の姉妹都市との交流事業	
		【14】多文化理解の推進	◆市立潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業の実施	
	ウ　地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	◆アートフリーマーケット等による芸術家等の育成支援 ◆市の文化施設の地域のにぎわい創出等への活用 ◆広報紙，ホームページ等による行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信	P.9
	エ　良好な景観の形成	【16】良好な景観の形成	◆全市を景観法で定める「景観地区」の指定による魅力ある景観づくりの推進 ◆景観地区のうち，特徴のある景観を有する地域は「特別景観地区」の指定により，良好な景観の保全・育成の推進	
③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	ア　市の文化施設の充実	【17】市の文化施設の機能の充実	◆文化施設の特性に応じた芸術家等の人材育成，教育プログラム，アウトリーチ活動等の実施 ◆文化施設における参加体験型（ワークショップ）事業の実施 ◆文化施設の特性に応じたプロデュース機能の充実及び活用の促進 ◆文化施設の機能の向上	P.10
		【18】運営方法の点検等	◆施設利用者を対象としたアンケート調査の実施 ◆施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証	P.11
	イ　学校施設，公共施設の活用	【19】学校施設，公共施設の活用	◆学校施設，公共施設の文化活動の場としての活用	
	ウ　情報の収集等	【20】情報の収集等	◆広報紙，ホームページや電子メールを活用した文化情報の提供 ◆保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用	
		【21】利便性の向上	◆施設利用予約システムの運用	
		【22】文化にかかわる資料，作品，情報等の保存	◆市の文化施設における収蔵資料等のデジタル化，データベース化の推進	
	エ　文化活動に対する支援	【23】活動している個人や団体に対して，より重点的・効果的な支援の充実	◆芦屋市芸術文化活動助成事業の実施 ◆地域文化活動補助事業の実施	P.12
	オ　文化活動に対する民間支援活動の促進	【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆寄附税制等に関する周知 ◆文化団体への寄附の促進 ◆企業メセナ等に関する情報の提供	
	カ　顕彰の実施	【25】顕彰の実施	◆市民文化賞による表彰の実施 ◆富田砕花賞顕彰事業の実施	

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　〔施策の柱〕①市民の自主的な文化活動の推進

			① 事業概要等〔PLAN〕															② 実施内容〔DO〕								③ 実施結果の確認〔CHEAK〕									④ 次年度以降へのフィードバック〔ACTION〕	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
1	公民館	高田　浩志	講演・講座・学級・教室等の開催		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		市民	講座　20講座，5,793人 日本語学級　47回，207人 講演会セミナー等　15回，3,296人 公民館子ども教室　20回，610人	◎	◎		新聞（地方版）	生涯学習課 芦屋病院 美術博物館 選挙管理委員会	NHK 芦屋川カレッジ学友会 芦屋市PTA協議会 芦屋ユネスコ協会 芦屋大学 国立民族学博物館 ヨドコウ迎賓館	7,011	事業内容及び参加人数	4,678人 210人 2,518人 401人	5,793人 207人 3,296人 610人	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
2	公民館	高田　浩志	公民館図書室の運営		◎		◎		◎			◎	◎			市民，市民センター利用者	図書貸出者数　13,149人					図書館		1,677	図書貸出者数	12,485人	13,149人	現状維持					A		図書館と連携しながら今後も事業を実施する。
3	図書館	丸尾　恵子	読書講演会		◎		◎									市民	【読書講演会】 テーマ『十五少年漂流記の舞台 中学からの愛読書と歴史地理研究』 講師：田辺真人氏（園田女子大学名誉教授） 平成25年度実施回数1 回	◎			図書館HP			34	参加人数	32人	39人	増加	参加人数	32人	39人	増加	B	参加者を増加させる。	図書館の講演会という特色を出していけるよう工夫していく。
4	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動【展覧会関連事業】		◎		◎		◎				◎			市民	・学芸員によるギャラリートーク　他5事業 ・対談「版画の魅力－松谷 武判」 ・トークイベント「浅田ホーム×ユアホーム＝アットホーム」 ・「学習雑誌にみるこどもの歴史」連オープニング記念展示解説会　他6事業	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	792人	679人	増加	事業本数	16事業	15事業	現状維持	A	事業展開に係る経費は一部，入館料収入が充てられる為，収益性の高い事業に歪きが歪かれる懸念がある。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。
5	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動【講演，講座等】		◎		◎		◎				◎			市民	【講演会】 ・「浮世絵と青」 ・「青の文化史－日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」 ・「現代美術懇談会（ゲンビ）－“抽象”と“総合”が目指したもの」 他2事業 【講座】 ・古文書講座（『摂津名所図絵』を読む） ・古文書講座（浮世絵から読み解く江戸時代の社会）	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	246人	245人	現状維持	事業本数	12事業	7事業	増加	B	展示事業の大半が一般社会人を対象とした企画となっている。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。
6	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	展示事業【ロビーギャラリートーク】		◎	◎	◎	◎								市民	・田中佐和子ギャラリートーク ・岡田嘉夫ギャラリートーク ・赤井稚佳ギャラリートーク　他2事業	◎			読売新聞			2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】	参加者数	251人	152人	増加	事業本数	7事業	6事業	増加	A		谷崎文学に係る市民の自由な学習の場，発展的な学習の場，市民交流の場として機能させる。
7	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	講座・講演		◎			◎	◎	◎	◎					市民	【文学館講座】 ・源氏物語講座 ・「枕草子」を読む講座 ・黒田官兵衛　人と哲学 ・初歩からの朗読講座　他20講座 【1日特別講座】 ・墨彩画一日体験講座 【現地講座】 ・谷崎潤一郎旧邸めぐり 【朗読会】 ・第1～第4回 【展示関連イベント・講演】 ・特別講座「谷崎文学と歌舞伎」他1事業	◎			読売新聞			6,155	受講者数・参加者数	3,089人	2,698人	増加	講座・講演本数	31	32	現状維持	A		文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび，市民がその文学により一層親しむ場とするとともに，谷崎文学の研究の拠点として，引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。
8	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	その他事業		◎	◎		◎		◎		◎				市民	【特別イベント】 ・朗読シアター「猫と庄造と二人のおんな」，「吉野葛」 ・谷崎映画名作選「卍」上映会 ・朗読演劇とトーク 【特別行事】 ・残月祭	◎			読売新聞 朝日新聞 毎日新聞 神戸新聞 NHK　他		大阪ドイツ文化センター	2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】	参加者数	1592人	914人	増加	事業本数	4事業	5事業	増加	B		文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび，市民がその文学により一層親しむ場とするとともに，谷崎文学の研究の拠点として，引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。
9	生涯学習課	長岡　一美	富田砕花顕彰〔再掲〕		◎	◎										市民，詩を親しむ人	【富田砕花賞の贈呈】 「詩人　富田砕花」の業績を顕彰するため，富田砕花顕彰会との共催により，公募した詩集の中から，優れた詩集に対し富田砕花賞を贈呈。 【旧居での展示】 富田砕花が長年居住し，谷崎潤一郎も住んだことのある旧居での，砕花ゆかりの資料等の展示公開 【富田砕花顕彰会講座】 富田砕花顕彰会による講座の実施 5月：風目散趣（富田砕花遺稿詩集）をテーマとした講座を開催 9月・11月「兵庫讃歌」をテーマとした講座を開催	◎	◎		県芸術文化協会誌「すずかけ」 土曜美術出版「現代詩手帖」，同人誌「半どんの会」 日本書籍出版協会「出版広報」 阪神南県民局広報誌 読売新聞大阪文化部「記事」 同人誌「Messier」に応募要項折込		富田砕花顕彰会	595	応募詩集数	93	90	現状維持	応募都道府県数	57%	62%	現状維持	B	中長期で見た場合応募詩集の数が，減少傾向が続いているので増加，又は，現状維持をする。	富田砕花賞実施の広報先を増やすことで，応募詩集数を増加させる。

〔施　策 の 柱〕①市民の自主的な文化活動の推進

〔基本的な施策〕ア　市民の文化活動の充実

〔主な施策概要〕【１】文化に対する関心，理解を深めるための普及啓発

〔事業の具体例〕　◆市の文化施設での文化に関する講座，講演会等の開催

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　〔施策の柱〕①市民の自主的な文化活動の推進

			① 事業概要等〔PLAN〕															② 実施内容〔DO〕								③ 実施結果の確認〔CHEAK〕									④ 次年度以降へのフィードバック〔ACTION〕	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
〔主な施策概要〕【２】市民の鑑賞機会の提供																																				
〔事業の具体例〕			◆文化団体との連携による鑑賞機会の提供 ◆市の文化施設での公演事業の実施 ◆市立図書館での展示事業の実施 ◆市立美術博物館での美術作品の展覧会の開催，文化に関する資料等の展示，展覧会等の開催 ◆谷崎潤一郎記念館，富田砕花旧居での文学資料館に関する展示，展覧会等の開催																																	
10	学校教育課	北野　章	自由研究・教育活動展		◎		◎										市民	幼小中学校の特色ある教育活動や子どもの作品を展示して学校間の交流を図るとともに，学校教育に対する市民の理解と関心を高める。	◎						293	来場人数	約1,600人	約1,500人	増加	学校園の参加率	100%	100%	現状維持	A	来場者をさらに増やすため，市民への更なる啓発が必要である。	学校園の教育活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり，今後もさらなる内容の充実に努めていく。
11	学校教育課	北野　章	中学校総合文化祭		◎		◎										市民	音楽演奏や作品展示を通じて，中学校間の文化交流を図る。	◎						385	来場人数	約1,100人	約1,100人	増加	中学校の参加率	100%	100%	現状維持	A	展示部門では，教育活動展の展示と重なる作品もあり，独自の展示物の充実を図る必要がある。	中学生が，これまでの活動成果を発表する貴重な機会であり，今後もさらなる内容の充実に努める。
12	学校教育課	北野　章	芦屋市造形教育展		◎		◎										市民	幼小中の各学校園の特色ある絵画や工作作品を展示することにより，造形教育の充実を図るとともに，その成果を発信する。	◎						400	来場人数	約4,700人	約4,700人	増加	学校園の参加率	100%	100%	現状維持	A	来場者をさらに増やすため，市民への更なる啓発が必要である。	学校園の日頃の造形活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり，今後もさらなる内容の充実に努める。
13	生涯学習課	長岡　一美	富田砕花顕彰〔再掲〕		◎	◎											市民，詩を親しむ人	【富田砕花賞の贈呈】 「詩人　富田砕花」の業績を顕彰するため，富田砕花顕彰会との共催により，公募した詩集の中から，優れた詩集に対し富田砕花賞を贈呈。 【旧居での展示】 富田砕花が長年居住し，谷崎潤一郎も住んだことのある旧居での，砕花ゆかりの資料等の展示公開 【富田砕花顕彰会講座】 富田砕花顕彰会による講座の実施 5月：属目散趣（富田砕花遺稿詩集）をテーマとした講座を開催 9月・11月「兵庫讃歌」をテーマとした講座を開催	◎	◎		県芸術文化協会誌「すずかけ」 土曜美術出版「現代詩手帖」，同人誌「半どんの会」 日本書籍出版協会「出版広報」 阪神南県民局広報誌 読売新聞大阪文化部「記事」 同人誌「Messier」に応募要項折込		富田砕花顕彰会	595	応募詩集数	93	90	現状維持	応募都道府県数	57%	62%	現状維持	B	中長期で見た場合応募詩集の数が，減少傾向が続いているので増加，又は，現状維持をする。	富田砕花賞実施の広報先を増やすことで，応募詩集数を増加させる。
14	公民館	高田　浩志	常設展示事業・公民館ギャラリー		◎	◎	◎	◎		◎			◎	◎			市民，市民センター利用者	常設展示　5回 公民館ギャラリー　20グループ	◎			新聞（地方版）	生涯学習課		483	常設展示の内容と回数	6回	5回	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
15	公民館	高田　浩志	公民館音楽会		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					市民，市民センター利用者	公民館音楽会　5回，580人	◎						500	音楽会の内容と回数	6回	5回	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
16	図書館	丸尾　恵子	大人が楽しむおはなしの会		◎	◎											市民	大人を対象に昔話や創作物語などを語るおはなしの会の実施した。 平成25年度実施回数1回	◎			図書館HP		ムギの会 グループめるへん	3	参加人数	48人	52人	現状維持	参加人数	48人	52人	現状維持	A	ボランティアの育成	昔話・児童文学の楽しさを幅広く知ってもらえるよう引き続き開催していく。
17	図書館	丸尾　恵子	ライブラリーコンサート		◎	◎											市民	音楽家を招き，図書館内でコンサートを実施した。 平成25年度実施回数3回	◎			図書館HP		芦屋市立図書館【友の会】		参加人数	620人	770人	現状維持	参加人数	620人	770人	現状維持	A		今後もボランティア等の協力を得ながら，市民が教養を深めていけるようなイベントを実施していく。
18	図書館	丸尾　恵子	ギャラリー展示		◎	◎											市民	図書館のエントランスに絵画や書などの芸術作品を展示。 平成25年度実施回数4回				図書館HP		芦屋市立図書館【友の会】		展示回数	4回	4回	現状維持	展示回数	4回	4回	現状維持	A		今後もボランティア等の協力を得ながら，市民が教養を深めていけるような場を提供していく。
19	図書館	丸尾　恵子	金曜シネサロン		◎	◎											市民	第1・第3金曜日に名画の上映を行った。 平成25年度実施回数21 回	◎			図書館HP				参加人数	1,603人	1,414人	現状維持	参加人数	1,603人	1,414人	現状維持	B		今後も市民が教養を深める場を提供していく。
20	美術博物館	長岡　一美	展示事業【美術部門】		◎	◎	◎										市民	【展示事業】 ・コレクション版画 展 ・アートビクニックvol. 3　マイホーム ユアホーム 展 ・第31回 芦屋市造形教育展 ・ゲンビ New era for creations 現代美術懇談会の軌跡 1952－1957 展　他1事業	◎	◎	◎	新聞 雑誌 フリーペーパー テレビ		近隣の県・市町村教育委員会 30～50ヶ所	32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	観覧者満足度		84,9%	増加	A	事業展開に係る経費は一部，入館料収入が充てられる為，収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　〔施策の柱〕①市民の自主的な文化活動の推進

			① 事業概要等〔PLAN〕															② 実施内容〔DO〕								③ 実施結果の確認〔CHEAK〕									④ 次年度以降へのフィードバック〔ACTION〕	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
21	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	展示事業【展示室】		◎	◎		◎		◎							市民	・春の特別展「猫を愛した作家たち～夏目漱石，内田百閒，大佛次郎，そして谷崎～」…猫を愛し，その魅力を小説に描いた作家の生原稿や剥製等約100点を公開。 ・夏の通常展「谷崎潤一郎　人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を，遺愛品，文学作品，書簡，写真などの資料を通して紹介。 ・秋の特別展「狐と谷崎，そして歌舞伎」…歌舞伎に登場する狐から母子の情愛や女性への憧れを育む，鏑絵，押隈，舞台写真など100点を展示。 ・冬の通常展「谷崎潤一郎　人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を，遺愛品，文学作品，書簡，写真などの資料を通して紹介。	◎				読売新聞 神戸新聞　他	虚子記念文学館 大佛次郎記念館 神奈川近代文学館 早稲田大学演劇博物館 国立劇場 池田文庫	2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】	入館者数				事業本数	4事業	4事業	現状維持	B	繰り返し訪れても新たな発見が得られるよう，引き続き，限られた館蔵品を活用した季節感や話題性のある展示更新を行い，その周知を図る。	文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび，市民がその文学により一層親しむ場とするとともに，谷崎文学の研究の拠点として，引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。
22	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	展示事業【ロビーギャラリー】		◎	◎	◎										市民	・猫の墨絵展 ・墨彩画展 ・歌舞伎絵原画展 ・イラストレーション展～本の散歩～　他4事業	◎				読売新聞		2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】	入館者数				事業本数	10事業	8事業	増加	A		谷崎文学に係る市民の自由な学習の場，発展的な学習の場，市民交流の場として機能させる。

〔主な施策概要〕【３】市民の文化活動や発表する機会の確保

〔事業の具体例〕
◆芦屋市展の開催
◆文化団体の創作，発表等の活動への助成等による支援
◆伝統芸能，舞台芸術作品等の公演などへの共催による支援
◆市の文化施設での創作，練習，発表等の活動の場の提供
◆市の文化施設の利用環境の整備

23	生涯学習課	長岡　一美	社会教育関係団体支援・育成事業〔再掲〕		◎							◎					社会教育関係団体	市PTA協議会等13団体への事業運営支援として補助金を交付した。 社会教育関係団体の追加登録を実施した。 「社会教育関係団体の地域での役割」をテーマに研修会を行った。							2,782	研修参加者数	189人	231人	増加	研修満足度	―	85.07%	増加	B	社会教育関係登録団体の地域貢献に対する意識を持ってもらう。	各登録団体の意識が高まり，より活発な活動と地域への貢献ができるよう支援する。
24	生涯学習課	長岡　一美	施設の維持管理		◎						◎			◎			市民，詩を親しむ人	【富田砕花旧居の維持管理】 富田砕花が長年居住し，谷崎潤一郎も住んだことのある旧居の維持管理 【三条分室の維持管理】 文化財の整理事務所及び三条コミュニティ・スクールの活動拠点である三条分室の維持管理					生涯学習課	富田砕花顕彰会 三条地域協議会	5,270	活動団体数（三条）及び訪問者数（旧居）	400団体（旧居）	446団体（旧居）	増加					B	施設の老朽化に伴う整備等の管理経費の増加	コストパフォーマンスを考慮しつつ，より有効な施設の利活用を進める。
25	生涯学習課	長岡　一美	指定管理者制度導入施設の維持管理		◎												市民	美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の施設設備の維持管理について，指定管理者と調整，連携し，良好に行う。					生涯学習課	指定管理者	118,318	調整会議実施回数			増加	計画外修理費用の額			減少	B	施設の老朽化に伴う整備等の管理経費の増加	コストパフォーマンスを考慮しつつ，より有効な施設の利活用を進める。
26	市民センター	高田　浩志	市民センター管理運営		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎					市民，市民センター利用者	全開室数　34,873室中， 使用件数　15,649室 インターネットからの貸室の仮予約を引き続き実施。	◎						105,212	使用件数	14,897件	15,649件	現状維持					A		民間事業者への委託内容を精査し，今後も継続して実施する。 貸室管理をしているコンピュータシステムを他の施設とともに改修する。
27	市民センター	高田　浩志	市民会館文化事業		◎	◎	◎	◎		◎		◎					市民，市民センター利用者	市民ステージ　11団体 市民ギャラリー　14団体 市民絵画展　52人	◎						486	参加団体，人数	11団体 12団体 50人	11団体 14団体 52人	増加					A		今後も継続して実施する。
28	美術博物館	長岡　一美	展示事業【公募展】		◎	◎	◎		◎	◎		◎					市民	【展示事業】 ・第62回　芦屋市展	◎	◎	◎	新聞 雑誌 フリーペーパー			32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	観覧者数	―	1330人	現状維持	応募点数	―	324	現状維持	A	応募点数に比し，入選点数の割合が高い為，より切磋琢磨して感性を磨くという意識の高揚を図り難いのではないか。	気軽に美術博物館に足を運ぶ機運を醸成する。

〔主な施策概要〕【４】文化活動に関する情報の提供

〔事業の具体例〕　◆広報紙，ホームページ等様々な媒体による文化活動のための情報提供

29	生涯学習課	長岡　一美	文化財関連事業の情報提供〔再掲〕		◎									◎			市民	文化財関連事業を開催する際には，市民に周知するために，事前に「広報あしや」及びホームページに案内を掲載している。	◎				広報国際交流課			「広報あしや」及びホームページの掲載率	100%	100%	現状維持	「広報あしや」及びホームページの掲載率（前年度比）	100%	100%	現状維持	A	文化財関連事業を一人でも多くの市民に周知する。	今後も文化財関連事業を開催する際には，一人でも多くの市民に知っていただけるように，「広報あしや」及びホームページ等に案内を掲載していく。必要であれば，新聞等のメディアも活用する。
30	美術博物館	長岡　一美	その他【広報】		◎	◎	◎	◎			◎	◎					市民	・広報紙，ホームページ，ツイッター等様々な媒体による幅広い情報の提供	◎	◎	◎					総入館者数	27,540人	33,040人	増加	広報紙掲載件数	24件	24件	現状維持	A		事業毎に利用者アンケートを実施し，そのニーズの把握に努めると共に自己評価を行い，今後の事業展開に反映する等市民に親しまれる美術博物館を目指している。 収蔵資料等のデジタル化，データベース化を推進していきたい。
31	谷崎潤一郎記念館	長岡一美	その他【広報】		◎	◎		◎		◎		◎					市民	・広報紙，ホームページ，新聞等様々な媒体による幅広い情報の提供	◎			新聞				総入館者数	13,570人	11,196人	増加	広報紙掲載件数	24県	24県	現状維持	A		青少年を対象にした分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって，谷崎文学を気軽に親しむきっかけとなることを目指す。 収蔵資料等のデジタル化，データベース化を推進していきたい。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］①市民の自主的な文化活動の推進

			① 事業概要等［PLAN］															② 実施内容［DO］								③ 実施結果の確認［CHEAK］									④ 次年度以降へのフィードバック［ACTION］	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
［基本的な施策］イ　高齢者，障がい者等の文化活動の充実																																				
［主な施策概要］［５］高齢者，障がい者等の文化活動の充実 ［事業の具体例］ ◆市の文化施設のバリアフリー化の推進 ◆市の文化施設での託児支援等の取組 ◆市の文化施設での高齢者，障がい者の観覧料等の軽減																																				
32	障害福祉課	鳥越　雅也	障がい児・者作品展		◎	◎	◎									保健福祉センターにおいて障がい者児が作成した作品を1週間展示	市民	平成25年11月8日～11月14日まで福祉センターにおいて第6回障がい児・者作品展を実施	◎					社会福祉協議会		出展者数	101人	108人	増加	出展者数/障がい者手帳所持者数	2.60%	2.70%	増加	B	出展者のほとんどが団体を通じての出展となっており，一般参加が少ない。	引き続き，広報で市民に周知することにより出展者数を増加させたい。
33	高齢福祉課	木野　隆	高齢者証明書の発行		◎	◎				◎							市内在住の65歳以上の方	市の文化施設での観覧料の軽減	◎				生涯学習課			発行人数	249人	233人	現状維持					A		
34	高齢福祉課	木野　隆	敬老の日及び老人の日の指定公共施設の無料観覧		◎	◎				◎							市内在住の65歳以上の方	敬老の日及び老人の日に市の文化施設での無料観覧	◎				生涯学習課											B		
35	公民館	高田　浩志	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		60歳以上の市民	芦屋川カレッジ　108人 カレッジ聴講生　93人 カレッジ大学院　101人	◎				生涯学習課	芦屋川カレッジ学友会	7,000	事業内容及び参加人数	102人 111人 109人	108人 93人 101人	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
36	公民館	高田　浩志	阪神南青い鳥学級・くすの木学級の開催		◎			◎									尼崎市，西宮市，芦屋市在住の視覚障がいのある人と聴覚障がいのある人	3市による実行委員会方式により実施 青い鳥学級　西宮市が当番市 くすの木学級　芦屋市が当番市	◎					視覚障がい者の団体 聴覚障がい者の団体	719									A		尼崎市と西宮市と協力しながら，今後も事業を実施する。
37	図書館	丸尾　恵子	障がい者サービス		◎			◎									障がいのある人	視覚・聴覚等に障がいのある方に向けて，点字図書・録音図書の貸出や対面朗読サービスを行った。				図書館HP		あし笛 芦屋点字友の会		利用件数	185件	275件	増加	利用件数	185件	275件	増加	A	障がい者サービスの周知	障がいのある方が気軽に図書館を利用できるよう，今後も要望に応えていく。
38	美術博物館	長岡　一美	その他 【観覧料軽減措置等】		◎	◎				◎		◎					市民（特に高齢者等）	・高齢者，障がい者等の観覧料軽減 ・「老人の日」「敬老の日」の高齢者入館料免除 ・「関西文化の日」への参加 ・「市民無料の日」の設定	◎							入館料無料設定日数	6日	5日	現状維持					B		高齢者には意欲を持ってなお学べる生涯学習の場となるよう，また障がい者には展示方法や車椅子の利用方法等に配慮した，人に優しい美術博物館を目指したい。
39	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	その他 【観覧料軽減措置等】		◎	◎		◎		◎		◎					市民（特に高齢者等）	・高齢者，障がい者等の観覧料軽減 ・「老人の日」「敬老の日」の高齢者入館料免除 ・「関西文化の日」への参加	◎							入館料無料設定日数	4日	4日	現状維持					B		生涯に亘る多様な学習活動の一環として，谷崎文学を分野別やレベル別の体系化した各種講座やセミナー等を開催していきたい。
［基本的な施策］ウ　青少年の文化活動の充実																																				
［主な施策概要］［６］青少年の鑑賞機会の提供 ［事業の具体例］ ◆市の文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施 ◆市立図書館での絵本展示等の実施 ◆市立美術博物館での人形劇の実施																																				
40	図書館	丸尾　恵子	こどもおはなしの会		◎											子どもたちに本の楽しさを伝える	小学生	小学生以上の子どもを対象に昔話や創作の物語を語るおはなしの会を実施した。 平成25年度実施回数45回	◎			図書館HP		ムギの会 グループめるへん		参加人数	670人	685人	増加	参加人数	670人	685人	増加	B	ボランティアの育成	子どもたちが本と出会い，読書の楽しさを知ってもらえるよう，今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み，より充実した内容にしていく。
41	図書館	丸尾　恵子	打出分室こどもおはなしの会		◎											子どもたちに本の楽しさを伝える	3歳以上の子どもと保護者	親子を対象としたおはなし・絵本の読み聞かせを行った。 平成25年度実施回数4回	◎			図書館HP		グループめるへん		参加人数	143人	97人	増加	参加人数	143人	97人	増加	B	ボランティアの育成	子どもたちが本と出会い，読書の楽しさを知ってもらえるよう，今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み，より充実した内容にしていく。
42	図書館	丸尾　恵子	親子で楽しむおはなしの会		◎											子どもたちに本の楽しさを伝える	3歳以上の子どもと保護者	親子を対象としたおはなしの会を実施した。 平成25年度実施回数4回	◎			図書館HP		ムギの会 グループめるへん		参加人数	164人	119人	増加	参加人数	164人	119人	増加	B	ボランティアの育成	子どもたちが本と出会い，読書の楽しさを知ってもらえるよう，今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み，より充実した内容にしていく。
43	図書館	丸尾　恵子	人形劇の会		◎	◎											幼児～小学校低学年	夏休み期間中に幼児～小学生を対象とした人形劇の実施した。 平成25年度実施回数1回	◎			図書館HP			15	参加人数	128人	99人	現状維持	参加人数	128人	99人	現状維持	B	参加者の低年齢化	子どもたちを対象としたリクリエーションの場として，今後も開催していく。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］①市民の自主的な文化活動の推進

			① 事業概要等［PLAN］																② 実施内容［DO］								③ 実施結果の確認［CHEAK］									④ 次年度以降へのフィードバック［ACTION］	
						①-3事業の目的														③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																											④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
〔主な施策概要〕【７】青少年の文化活動の体験機会の提供																																				
〔事業の具体例〕 ◆市立図書館での子どもや親子を対象とした読書に親しむための事業の実施 ◆市立美術博物館での文化を体験する機会の提供や体験型のワークショップの実施																																				
44	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動【ワークショップ等】		◎		◎	◎	◎		◎	◎		◎			児童・生徒	・絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」 ・作ってわかる縄文・弥生 ・ワークショップ「かたちを教えあって，顔を描こう。」 ・クリスマスオーナメントづくり　他8事業	◎	◎	◎				32,367【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	624人	963人	増加	事業本数	12事業	12事業	増加	A		子どもを対象にした子どもに分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって，気軽にアートに親しむきっかけとなることを目指す。
45	図書館	丸尾　恵子	絵本の会		◎											子どもたちに本の楽しさを伝える	未就学児	毎週土曜日に絵本の読み聞かせを行った。対象は3歳以上の子ども。 平成25年度実施回数45回	◎			図書館HP		ムギの会 グループめるへん		参加人数	837人	713人	増加	参加人数	837人	713人	増加	B	ボランティアの育成	子どもたちが本と出会い，読書の楽しさを知ってもらえるよう，今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み，より充実した内容にしていく。
46	図書館	丸尾　恵子	親子で楽しむ絵本の会		◎											子どもたちに本の楽しさを伝える	3歳～小学生とその保護者	親子を対象とした絵本の読み聞かせを実施した。 平成25年度実施回数4回	◎			図書館HP		ムギの会 グループめるへん		参加人数	175人	129人	増加	参加人数	175人	129人	増加	B	同上	同上
47	図書館	丸尾　恵子	小学生の本の部屋		◎											子どもたちに本の楽しさを伝える	小学生1年生～4年生	子どもの読書週間にちなみ，小学1～4年生を対象に，「たんじょうび」をテーマにおはなしや本の紹介を行った。 平成25年度実施回数1回	◎			図書館HP		ムギの会 グループめるへん		参加人数	11人	23人	増加	参加人数	11人	23人	増加	A	同上	同上
48	図書館	丸尾　恵子	折り紙教室（子ども対象）		◎			◎									4歳～小学校低学年	夏休み期間中に子どもを対象とした折り紙教室の実施した。 平成25年度実施回数1回	◎			図書館HP			22	参加人数	57人	61人	現状維持	参加人数	57人	61人	現状維持	B	参加者の低年齢化	子どもたちを対象としたリクリエーションの場として，今後も開催していく。

〔基本的な施策〕エ　学校教育における文化活動の充実

〔主な施策概要〕【８】文化に関する体験学習等の充実																																				
〔事業の具体例〕 ◆学校への芸術家等派遣事業の実施 ◆本物の舞台芸術体験事業の実施 ◆学校と文化施設，芸術家等や文化団体と連携した教育の推進 ◆子どもの文化活動を支援する人材（ボランティア）リストの作成																																				
49	学校教育課	北野　章	わくわくオーケストラ事業		◎	◎		◎									中学1年生	全中学1年生が県の「わくわくオーケストラ」事業に参加し，県の芸術文化ホールで，本物のクラシック音楽に触れる体験を行っている。					県教育委員会		実施率（実施中学校数/全中学校数）	100%	100%	現状維持	実施率（実施中学校数/全中学校数）	100%	100%	現状維持	A	県の事業であるため，実施内容等を主体的に変更することができない。	中学1年生が本物のクラシック音楽に触れる貴重な事業として，今後も継続参加するとともに，県への要望等を通じて，内容等の充実に努める。
50	学校教育課	北野　章	次代を担う子どもの文化芸術体験事業		◎	◎		◎									中学生	「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」として文化庁が実施。学校にオーケストラや合唱，演劇等の芸術活動に携わっている個人，または団体を派遣する。					文化庁		実施校数	2校	2校	増加	実施率（実施小・中学校数/全小・中学校数）	18%	18%	増加	B	文化庁主催の事業であり，応募のあった学校の中から，文化庁が実施校を決定することから，実施の見通しが立てにくい。	今後も，各学校が積極的に事業に応募していけるよう，情報提供に努める。
51	学校教育課	北野　章	自由研究・教育活動展〔再掲〕		◎		◎										市民	幼小中学校の特色ある教育活動や子どもの作品を展示して学校間の交流を図るとともに，学校教育に対する市民の理解と関心を高める。	◎						293	来場人数	約1,600人	約1,500人	増加	学校園の参加率	100%	100%	現状維持	A	来場者をさらに増やすため，市民への更なる啓発が必要である。	学校園の教育活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり，今後もさらなる内容の充実に努めていく。
52	生涯学習課	長岡　一美	文化財体験学習〔再掲〕		◎			◎									小学生とその保護者	夏休みに小学生を対象として，公民館で勾玉作りの体験学習を実施した。	◎			市広報チャンネル	公民館	文化財市民ボランティア		実施回数	2回	2回	現状維持	実施回数（前年度比）	100%	100%	現状維持	A	体験学習のいろいろなメニューを検討する必要がある。	今後も，夏休みに小学生を対象とした歴史に係る体験学習を実施し，子どもたちに歴史や文化財の大切さを学んでもらう。

〔基本的な施策〕オ　人材の育成に関する支援

〔主な施策概要〕【９】創造的活動の成果を発表する機会の確保																																				
〔事業の具体例〕 ◆市民絵画展，芦屋市展，芦屋市造形教育展の開催																																				
53	市民センター	高田　浩志	市民会館文化事業〔再掲〕		◎	◎	◎	◎		◎		◎					市民，市民センター利用者	市民ステージ　11団体 市民ギャラリー　14団体 市民絵画展　52人	◎						486	参加団体，人数	11団体 12団体 50人	11団体 14団体 52人	増加					A		今後も継続して実施する。
54	美術博物館	長岡　一美	展示事業【美術部門】〔再掲〕		◎	◎	◎										市民	【展示事業】 ・コレクション版画 展 ・アートピクニックvol. 3　マイホーム ユアホーム 展 ・第31回 芦屋市造形教育展 ・ゲンビ New era for creations 現代美術懇談会の軌跡 1952－1957 展　他1事業	◎	◎	◎	新聞 雑誌 フリーペーパー テレビ		近隣の県・市町村教育委員会30～50ヶ所	32,367【美術博物館関連経費一括計上】	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	観覧者満足度		84.9%	増加	A	事業展開に係る経費は一部，入館料収入が充てられる為，収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。
55	美術博物館	長岡　一美	展示事業【公募展】〔再掲〕		◎	◎	◎		◎	◎		◎					市民	【展示事業】 ・第62回　芦屋市展	◎	◎	◎	新聞 雑誌 フリーペーパー			32,367【美術博物館関連経費一括計上】	観覧者数	—	1,330人	現状維持	応募点数	—	324	現状維持	A	応募点数に比し，入選点数の割合が高い為，より切磋琢磨して感性を磨くという意識の高揚を図り難いのではないか。	気軽に美術博物館に足を運ぶ機運を醸成する。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］①市民の自主的な文化活動の推進

			① 事業概要等［PLAN］															② 実施内容［DO］								③ 実施結果の確認［CHEAK］									④ 次年度以降へのフィードバック［ACTION］	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
［基本的な施策］カ　文化団体の育成に関する支援																																				
［主な施策概要］【10］文化団体の育成に関する支援，連携の推進 ［事業の具体例］　◆文化団体の活動に対する後援 ◆文化団体相互の連携の促進 ◆市の文化施設での社会教育関係団体等の使用料の軽減																																				
56	市民参画課	福島 貴美	芦屋市後援名義使用承認		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		市民	文化に関する事業を行う団体に対して，芦屋市の後援名義の使用を承認し，文化振興を支援した。								後援名義承認数	76件	93件	増加					A	申請を受け付けて，審査を行い承認書を送るまでの期間を短くしてきたが，取り組みを継続する。	要綱に基づき，関係部署や機関に照会し，慎重に審査する。引き続き，教育委員会の後援名義担当課との情報交換を行う。
57	管理課	小川　智瑚子	芦屋市教育委員会後援名義の使用承認		◎							◎					教育，学術，文化及びスポーツに関する事業を行う団体	教育，学術，文化およびスポーツに関する事業を行う団体に対し，芦屋市教育委員会の後援名義の使用を承認することにより，その事業を奨励し，教育，学術，文化及びスポーツ等の振興に寄与した。								後援名義の使用承認件数	124件	155件	増加	対前年度比	71%	125%	増加	A	H26から申請手続きについて，申請者の便宜を図るためにー定の見直しを行った。 市民活動の推進に寄与しており，成果は上がっていると考える。	引き続き迅速かつ適正な事務処理に努めたい。
58	生涯学習課	長岡　一美	社会教育関係団体支援・育成事業		◎							◎					社会教育関係団体	市PTA協議会等13団体への事業運営支援として補助金を交付した。 社会教育関係団体の追加登録を実施した。 「社会教育関係団体の地域での役割」をテーマに研修会を行った。							2,782	研修参加者数	189人	231人	増加	研修満足度	ー	85.07%	増加	B	社会教育関係登録団体の地域貢献に対する意識を持ってもらう。	各登録団体の意識が高まり，より活発な活動と地域への貢献ができるよう支援する。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　〔施策の柱〕②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進

			① 事業概要等〔PLAN〕															② 実施内容〔DO〕								③ 実施結果の確認〔CHEAK〕									④ 次年度以降へのフィードバック〔ACTION〕	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
〔施　策 の 柱〕②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進																																				
〔基本的な施策〕ア　地域の伝統的な文化の保存等																																				
〔主な施策概要〕【11】伝統的な文化の普及啓発，鑑賞機会等の提供 〔事業の具体例〕　◆歴史を学ぶ機会の提供 ◆伝統的な文化に触れる機会の提供 ◆市の文化施設での能・狂言などの伝統芸能にかかわる公演の実施，発表機会の確保 ◆市の文化施設での地域の歴史・文化などの講座，講演会や資料展示の充実																																				
59	市民センター	高田　浩志	ルナ・ホール事業		◎	◎	◎	◎		◎			◎	◎			市民，市民センター利用者	ルナ・ホール事業　13回	◎	◎		新聞（地方版）	生涯学習課	芦屋市少年少女合唱団 芦屋学園 御影高校	14,494	事業内容								A	集客数では評価しにくい事業である。	芦屋の魅力を発掘・発信する事業を実施する。
60	美術博物館	長岡　一美	展示事業 【歴史部門】 〔再掲〕		◎	◎		◎					◎	◎			市民	【展示事業】 ・世界を魅了した「青」－浮世絵名品展 ・90年間のタイムカプセル 学習雑誌に見るこどもの歴史 展 ・世界を魅了したやまとなでしこ－浮世絵美人帖 展　他2事業	◎	◎	◎	新聞 学習雑誌 フリーペーパー テレビ		近隣の県・市町村 教育委員会 30～50ヶ所	32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	事業本数	6事業	4事業	増加	A	芦屋市の歴史を島瞰的に捉えられるよう，他市，他館との交流を通して，展示資料の借用等も視野に，その拡充も必要だと考える。	地域固有の伝統や文化が更に重要性を増していく中で，引き続き本市の歴史資料の収集・保存，文化財の保護，伝統文化の継承を図るとともに，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。
61	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動 【展覧会関連事業】 〔再掲〕		◎			◎		◎				◎			市民	・学芸員によるギャラリートーク　他5事業 ・対談「版画の魅力－松谷 武判」 ・トークイベント「浅田ホーム×ユアホーム＝アットホーム」 ・「学習雑誌にみるこどもの歴史」連オープニング記念展示解説会　他6事業	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	792人	679人	増加	事業本数	16事業	15事業	現状維持	A	事業展開に係る経費は一部，入館料収入が充てられる為，収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。
62	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動 【講演，講座等】 〔再掲〕		◎			◎		◎				◎			市民	【講演会】 ・「浮世絵と青」 ・「青の文化史－日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」 ・「現代美術慧談会（ゲンビ）－“抽象”と“総合”が目指したもの」 他2事業 【講座】 ・古文書講座（『摂津名所図絵』を読む） ・古文書講座（浮世絵から読み解く江戸時代の社会）	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	246人	245人	現状維持	事業本数	12事業	7事業	増加	B	展示事業の大半が一般社会人を対象とした企画となっている。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。
63	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動 【ワークショップ等】 〔再掲〕		◎		◎	◎	◎		◎	◎		◎			児童・生徒	・絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」 ・作ってわかる縄文・弥生 ・ワークショップ「かたちを教えあって，顔を描こう。」 ・クリスマスオーナメントづくり　他8事業	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	624人	963人	増加	事業本数	12事業	12事業	増加	A		子どもを対象にした子どもに分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって，気軽にアートに親しむきっかけとなることを目指す。
64	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	講座・講演 〔再掲〕		◎			◎		◎	◎	◎					市民	【文学館講座】 ・源氏物語講座 ・「枕草子」を読む講座 ・黒田官兵衛　人と哲学 ・初歩からの朗読講座　他20講座 【1日特別講座】 ・墨彩画一日体験講座 【現地講座】 ・谷崎潤一郎旧邸めぐり 【朗読会】 ・第1～第4回 【展示関連イベント・講演】 ・特別講座「谷崎文学と歌舞伎」他1事業	◎			読売新聞			6,155	受講者数・参加者数	3,089人	2,698人	増加	講座・講演本数	31	32	現状維持	A		文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび，市民がその文学により一層親しむ場とするとともに，谷崎文学の研究の拠点として，引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。。
65	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	その他事業 〔再掲〕		◎	◎		◎		◎		◎					市民	【特別イベント】 ・朗読シアター「猫と庄造と二人のおんな」「吉野葛」 ・谷崎映画名作選「卍」上映会 ・朗読演劇とトーク 【特別行事】 ・残月祭	◎			読売新聞 朝日新聞 毎日新聞 神戸新聞 NHK　他		大阪ドイツ文化センター	2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】	参加者数	1,592人	914人	増加	事業本数	4事業	5事業	増加	B		文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび，市民がその文学により一層親しむ場とするとともに，谷崎文学の研究の拠点として，引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。
66	谷崎潤一郎記念館	長岡　一美	展示事業 【展示室】 〔再掲〕		◎	◎		◎		◎							市民	・春の特別展「猫を愛した作家たち～夏目漱石，内田百閒，大佛次郎，そして谷崎～」…猫を愛し，その魅力を小説に描いた作家の生原稿や剥製等約100点を公開。 ・夏の通常展「谷崎潤一郎　人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を，遺愛品，文学作品，書簡，写真などの資料を通して紹介。 ・秋の特別展「狐と谷崎，そして歌舞伎」…歌舞伎に登場する狐から母子の情愛や女性への憧れを育む，錦絵，押隈，舞台写真など100点を展示。 ・冬の通常展「谷崎潤一郎　人と作品」…谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学を，遺愛品，文学作品，書簡，写真などの資料を通して紹介。	◎			読売新聞 神戸新聞　他		虚子記念文学館 大佛次郎記念館 神奈川近代文学館 早稲田大学演劇博物館 国立劇場 池田文庫	2,717 【谷崎潤一郎記念館展示関連経費一括計上】	入館者数				事業本数	4事業	4事業	現状維持	B	繰り返し訪れても新たな発見が得られるよう，引き続き，限られた館蔵品を活用した季節感や話題性のある展示更新を行い，その周知を図る。	文豪・谷崎潤一郎の業績をしのび，市民がその文学により一層親しむ場とするとともに，谷崎文学の研究の拠点として，引き続き谷崎資料の収集・保存の継承を図り，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進

			① 事業概要等〔PLAN〕															② 実施内容〔DO〕								③ 実施結果の確認〔CHEAK〕									④ 次年度以降へのフィードバック〔ACTION〕	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
〔主な施策概要〕【12】文化財保護の充実等																																				
〔事業の具体例〕			◆文化財の保存・整備と活用 ◆文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施 ◆市立美術博物館での文化財等に関する資料の収集，保管，展示及び研究 ◆広報紙，ホームページ等による文化財に関する情報の提供																																	
67	生涯学習課	長岡　一美	埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行		◎									◎			市民	市内で発掘調査が実施された埋蔵文化財の記録を公表し，将来に残すために，発掘調査報告書を3冊刊行した。							712	埋蔵文化財発掘調査に対する報告書の刊行率	100%	100%	減少	埋蔵文化財発掘調査に対する報告書の刊行率（前年度比）	100%	100%	減少	A	埋蔵文化財発掘調査報告書の編集・作成には，膨大な労力が必要であるために，作業の軽減を図り，コスト削減に努める必要がある。	埋蔵文化財発掘調査報告書の編集・作成の労力を軽減するために，主要なものを掲載するように努めページ数を削減する。
68	生涯学習課	長岡　一美	遺跡の環境整備等		◎									◎			市民	市内遺跡を良好な状態で保存継承していくため，専門業者による草刈や樹木の伐採等，環境整備を実施した他，ボランティアによる，清掃作業とミニ講話を併せた催しも実施した。							945	実施回数	7回	6回	現状維持	実施回数（前年度比）	100%	86%	現状維持	B	草刈の実施時期を見極め，遺跡が常に美しい状態に保たなければならない。	常に遺跡が美しく整備され，見学者が気持ちよく見学できるように，遺跡の草刈を実施する。
69	生涯学習課	長岡　一美	会下山遺跡説明板の設置		◎									◎			市民	会下山遺跡の見学者が遺跡の概要を理解できるように，説明板を新設及び取り替えた。							185	新設及び取替えの説明板数	10回	8回	減少	新設及び取替えの説明板数（前年度比）	100%	80%	減少	A	会下山遺跡では，経年により解説板が劣化するので，その都度取替えが必要である。	平成25年度に会下山遺跡の説明板は，すべて取替え等が完了したので，しばらくは新設及び取替えの必要はない。
70	生涯学習課	長岡　一美	文化財関連講座		◎									◎			市民	【公民館講座「芦屋から大坂城の謎を解く」の開催】 芦屋にある徳川大坂城東六甲採石場と大坂城の関係について8回の講座を開催した。	◎				公民館			講座の実施回数	6回	8回	現状維持	講座の実施回数（前年度比）	100%	133%	現状維持	A	一般の方々が参加しやすいテーマを見出すこと。	今後も，市の歴史や文化財に関連したテーマを見出し，講座を開催していく。その際には，歴史ファンを対象にした極めて専門的な内容ではなく，市民が興味を持ち，理解できるわかりやすいテーマや内容にすることを心がける。
71	生涯学習課	長岡　一美	芦屋市文化遺産継承・活性化事業	◎									◎				市内の文化遺産を継承している団体	市が実施計画を策定し，実行委員会が平成25年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）交付を申請した。補助金額は，9,492千円。				読売新聞，神戸新聞		芦屋市文化遺産継承・活性化事業実行委員会	9,492（補助金）	申請件数	0件	1件	現状維持	申請件数（前年度比）	0%	100%	現状維持	A	補助事業がいつまで継続するのかがわからない。	今後も補助事業が続くのなら，市内の文化遺産を継承する団体に対して活動を支援できるように，事業を継続する。
72	生涯学習課	長岡　一美	文化財関連事業の情報提供		◎									◎			市民	文化財関連事業を開催する際には，市民に周知するために，事前に「広報あしや」及びホームページに案内を掲載している。	◎				広報国際交流課			「広報あしや」及びホームページの掲載率	100%	100%	現状維持	「広報あしや」及びホームページの掲載率（前年度比）	100%	100%	現状維持	A	文化財関連事業を一人でも多くの市民に周知する。	今後も文化財関連事業を開催する際には，一人でも多くの市民に知っていただけるように，「広報あしや」及びホームページ等に案内を掲載していく。必要であれば，新聞等のメディアも活用する。
73	生涯学習課	長岡　一美	文化財関連冊子の刊行		◎									◎			市民	市内の文化財について，市民を対象にわかりやすい冊子を刊行し，配布する。							206	刊行数	1刊	1刊	現状維持	刊行数（前年度比）	100%	100%	現状維持	A	市民に市の歴史や文化財を学んでいただくための冊子のテーマの選択や，内容の工夫が必要である。	市内の文化財の存在や内容について，市民に知っていただけるように，今後もわかりやすい内容で継続して刊行する。
74	生涯学習課	長岡　一美	文化財関連リーフレットの刊行		◎									◎			市民	市内の文化財について，市民を対象にわかりやすいリーフレットを刊行し，配布する。							55	刊行数	1刊	1刊	現状維持	刊行数（前年度比）	100%	100%	現状維持	A	市民に市の歴史や文化財を学んでいただくためのリーフレットのテーマの選択や，内容の工夫が必要である。	市内の文化財の存在や内容について，市民に知っていただけるように，今後もわかりやすい内容で継続して刊行する。
75	生涯学習課	長岡　一美	市指定文化財の指定		◎									◎			市民	寺田遺跡出土の黄釉鉄絵陶器盤の学術的価値を評価し，市民の宝として将来に残されるように，市指定文化財に指定した。	◎			新聞（神戸新聞）			117	文化財保護審議会の開催回数	2回	2回	現状維持	文化財保護審議会の開催回数	100%	100%	現状維持	A	市指定文化財等に指定すべき文化財を見出し，継続的に指定していく必要がある。	市内の学術的価値の高い文化財を見出し，計画的に文化財を指定していく。
76	生涯学習課	長岡　一美	文化財体験学習		◎		◎										小学生とその保護者	夏休みに小学生を対象として，公民館で勾玉作りの体験学習を実施した。	◎			市広報チャンネル	公民館	文化財市民ボランティア		実施回数	2回	2回	現状維持	実施回数（前年度比）	100%	100%	現状維持	A	体験学習のいろいろなメニューを検討する必要がある。	今後も，夏休みに小学生を対象とした歴史に係る体験学習を実施し，子どもたちに歴史や文化財の大切さを学んでもらう。
77	美術博物館	長岡　一美	展示事業【歴史部門】		◎	◎	◎						◎	◎			市民	【展示事業】 ・世界を魅了した「青」ー浮世絵名品展 ・90年間のタイムカプセル 学習雑誌に見るこどもの歴史 展 ・世界を魅了したやまとなでしこー浮世絵美人帖 展　他2事業	◎	◎	◎	新聞 学習雑誌 フリーペーパー テレビ		近隣の県・市町村教育委員会 30～50ヶ所	32,367【美術博物館関連経費一括計上】	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	事業本数	6事業	4事業	増加	A	芦屋市の歴史を島瞰的に捉えられるよう，他市，他館との交流を通して，展示資料の借用等も視野に，その拡充も必要だと考える。	地域固有の伝統や文化が更に重要性を増していく中で，引き続き本市の歴史資料の収集・保存，文化財の保護，伝統文化の継承を図るとともに，これらを市民共通の資産として利活用していきたい。

〔基本的な施策〕イ　国内及び国外との交流の促進

〔主な施策概要〕【13】国際交流の推進																																				
〔事業の具体例〕			◆海外の姉妹都市との交流事業																																	
78	広報国際交流課	萩原　裕子	姉妹都市交流事業		◎										◎		市内在住の高校生以上の学生	姉妹都市学生親善使節の相互派遣	◎		◎			NPO法人芦屋市国際交流協会	900	歴代の芦屋市とモンテベロ市の学生親善使節の人数	190人	194人	増加	姉妹都市学生親善使節交換事業参加者数	509人	621人	増加	B	姉妹都市モンテベロ市についての市民への周知	姉妹都市モンテベロ市のパンフレットを作成して市民に姉妹都市を広く周知する。
〔主な施策概要〕【14】多文化理解の推進																																				
〔事業の具体例〕			◆市立潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業の実施																																	
79	広報国際交流課	萩原　裕子	潮芦屋交流センター事業		◎										◎		市民	潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業	◎	◎	◎			NPO法人芦屋市国際交流協会	21,400	潮芦屋交流センター自主事業参加者数	4,366人	4,265人	増加	潮芦屋交流センター自主事業参加者数の割合(%)（当該年度／平成23年度）	126%	123%	増加	B	潮芦屋交流センターの市民への周知	潮芦屋交流センター壁面に看板を設置したり，パンフレット改定版や事業案内チラシを各施設に配布するなどして潮芦屋交流センターの周知に力を入れる。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進

			① 事業概要等〔PLAN〕														② 実施内容〔DO〕										③ 実施結果の確認〔CHEAK〕									④ 次年度以降へのフィードバック〔ACTION〕	
						①-3事業の目的												③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																									④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
［基本的な施策］ウ　地域の文化資源の活用																																					
〔主な施策概要〕【15】文化資源を活用した地域の活性化 〔事業の具体例〕　◆アートフリーマーケット等による芸術家等の育成支援 ◆市の文化施設の地域のにぎわい創出等への活用 ◆広報紙，ホームページ等による行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信																																					
80	市民参画課	福島貴美	芦屋さくらまつりの開催		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎					市民	芦屋さくらまつりへの支援・協力を通じて市民手づくりの，まつりを開催する予定であったが，荒天の為，中止となった。	◎	◎	◎	あしや流 TOKK サンケイリビング等	全庁	芦屋さくらまつり協議会	3,490	参加人数	17,500人	0人	現状維持					A	限られた費用の中での安全対策の強化	安心・安全・清潔なまつりを継続して開催する。
81	経済課	近田　真	あしや秋まつりの開催		◎						◎						市民	平成25年10月13日（日）に実施（だんじりパレード，バントワリング，吹奏楽演奏等及び市民団体出店）	◎	◎	◎	ラジオ関西 ひょうごツーリズム協会ホームページ 阪神南県民局観光サイト「あにあん倶楽部」 芦屋市商工会広報誌「あしや流」		あしや秋まつり協議会	2,506	参加者	5,500人	6,000人	増加	参加者／芦屋市人口（各年度10月）	5,69%（10月末人口96613人）	6,21%（10月末人口96659人）	増加	A	市外に向けた情報発信（あしや三大祭紹介チラシの作成等）	ルミナリエ等市外で行われるイベントにおいて祭りの紹介を行うなど広報活動を強化していく。
82	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動【その他事業】		◎		◎		◎		◎	◎					市民	・春・秋の芦屋アートバザール（自主事業） ・美博寄席 ・朗読と音楽で綴る宮沢 賢治の世界 ・東日本大震災追悼コンサート　他5事業	◎	◎		新聞			32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	4,707人	5,895人	増加	事業本数	6事業	10事業	現状維持	A		視覚のみならず，聴覚にも心地良い文化施設として，ミュージアムコンサート等を充実させていきたい。 子どもに限定した創作活動から生まれる触れ合いを体感できる事業の展開（アートバザール子ども版）
［基本的な施策］エ　良好な景観の形成																																					
〔主な施策概要〕【16】良好な景観の形成 〔事業の具体例〕　◆全市を景観法で定める「景観地区」の指定による魅力ある景観づくりの推進 ◆景観地区のうち，特徴のある景観を有する地域は「特別景観地区」の指定により，良好な景観の保全・育成の推進																																					
83	都市計画課	東　実	まちの景観形成等に関する事務		◎											地域の良好な景観形成	市民	景観行政団体への移行を前提とした各方面との調整及び都市景観条例の改正等。 大規模建築物における景観協議の実施により，地域の良好な景観形成を誘導。							2,345	総合計画アンケートにおける満足度（満足2，やや満足1，普通0，やや不満−1，不満−2）	0.9		増加	総合計画アンケートにおける満足度（満足2，やや満足1，普通0，やや不満−1，不満−2）	0.9		増加	A	良好な景観形成を目的とした効果的な計画誘導を行うための諸制度の整理	景観計画の策定，屋外広告物条例の策定，南芦屋浜を特別景観地区に指定

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進

			① 事業概要等［PLAN］															② 実施内容［DO］								③ 実施結果の確認［CHEAK］									④ 次年度以降へのフィードバック［ACTION］	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
［施　策 の 柱］③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進																																				
［基本的な施策］ア　市の文化施設の充実																																				
［主な施策概要］【17】市の文化施設の機能の充実 ［事業の具体例］　◆文化施設の特性に応じた芸術家等の人材の育成，教育プログラム，アウトリーチ活動等の実施 ◆文化施設における参加体験型（ワークショップ）事業の実施 ◆文化施設の特性に応じたプロデュース機能の充実及び活用の促進 ◆文化施設の機能の向上																																				
84	生涯学習課	長岡　一美	文化財体験学習 ［再掲］		◎			◎								小学生とその保護者	夏休みに小学生を対象として，公民館で勾玉作りの体験学習を実施した。	◎			市広報チャンネル	公民館	文化財市民ボランティア		実施回数	2回	2回	現状維持	実施回数	100	100	現状維持	A	体験学習のいろいろなメニューを検討する必要がある。	今後も，夏休みに小学生を対象とした歴史に係る体験学習を実施し，子どもたちに歴史や文化財の大切さを学んでもらう。
85	公民館	高田　浩志	講演・講座・学級・教室等の開催 ［再掲］		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市民	講座　20講座，5,793人 日本語学級　47回，207人 講演会セミナー等　15回，3,296人 公民館子ども教室　20回，610人	◎	◎		新聞（地方版）	生涯学習課 芦屋病院 美術博物館 選挙管理委員会	NHK 芦屋川カレッジ学友会 芦屋市PTA協議会 芦屋ユネスコ協会 芦屋大学 国立民族学博物館 ヨドコウ迎賓館	7,011	事業内容及び参加人数	4,678人 210人 2,518人 401人	5,793人 207人 3,296人 610人	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
86	公民館	高田　浩志	公民館図書室の運営 ［再掲］		◎			◎		◎			◎	◎		市民，市民センター利用者	図書貸出者数　13,149人					図書館		1,677	図書貸出者数	12,485人	13,149人	現状維持					A		図書館と連携しながら今後も事業を実施する。
87	公民館	高田　浩志	常設展示事業・公民館ギャラリー ［再掲］		◎	◎	◎	◎		◎			◎	◎		市民，市民センター利用者	常設展示　5回 公民館ギャラリー　20グループ	◎			新聞（地方版）	生涯学習課		483	常設展示の内容と回数	6回	5回	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
88	公民館	高田　浩志	公民館音楽会 ［再掲］		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				市民，市民センター利用者	公民館音楽会　5回，580人	◎						500	音楽会の内容と回数	6回	5回	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
89	公民館	高田　浩志	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院 ［再掲］		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	60歳以上の市民	芦屋川カレッジ　108人 カレッジ聴講生　93人 カレッジ大学院　101人	◎				生涯学習課	芦屋川カレッジ学友会	7,000	事業内容及び参加人数	102人 111人 109人	108人 93人 101人	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。
90	公民館	高田　浩志	阪神南青い鳥学級・くすの木学級の開催 ［再掲］		◎			◎								尼崎市，西宮市，芦屋市在住の視覚障がいのある人と聴覚障がいのある人	3市による実行委員会方式により実施 青い鳥学級　西宮市が当番市 くすの木学級　芦屋市が当番市	◎					視覚障がい者の団体 聴覚障がい者の団体	719										A		尼崎市と西宮市と協力しながら，今後も事業を実施する。
91	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動 【展覧会関連事業】 ［再掲］		◎			◎		◎				◎		市民	・学芸員によるギャラリートーク　他5事業 ・対談「版画の魅力ー松谷 武判」 ・トークイベント「浅田ホーム×ユアホーム＝アットホーム」 ・「学習雑誌にみるこどもの歴史」連オープニング記念展示解説会　他6事業	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	792人	679人	増加	事業本数	16事業	15事業	現状維持	A	事業展開に係る経費は一部，入館料収入が充てられる為，収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。
92	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動 【講演，講座等】 ［再掲］		◎			◎		◎				◎		市民	【講演会】 ・「浮世絵と青」 ・「青の文化史ー日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」 ・「現代美術懇談会（ゲンビ）ー“抽象”と“総合”が目指したもの」 他2事業 【講座】 ・古文書講座（『摂津名所図絵』を読む） ・古文書講座（浮世絵から読み解く江戸時代の社会）	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	246人	245人	現状維持	事業本数	12事業	7事業	増加	B	展示事業の大半が一般社会人を対象とした企画となっている。	公立文化施設としての役割を果たしつつ，入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業（講座・講演，ギャラリー・トーク等）の充実を図っていきたい。
93	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動 【ワークショップ等】 ［再掲］		◎		◎	◎	◎		◎	◎		◎		児童・生徒	・絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」 ・作ってわかる縄文・弥生 ・ワークショップ「かたちを教えあって，顔を描こう。」 ・クリスマスオーナメントづくり　他8事業	◎	◎	◎				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	624人	963人	増加	事業本数	12事業	12事業	増加	A		子どもを対象にした子どもに分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって，気軽にアートに親しむきっかけとなることを目指す。
94	美術博物館	長岡　一美	教育普及活動 【その他事業】 ［再掲］		◎		◎		◎		◎	◎				市民	・春・秋の芦屋アートバザール（自主事業） ・美博客席 ・朗読と音楽で綴る宮沢 賢治の世界 ・東日本大震災追悼コンサート　他5事業	◎	◎		新聞			32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	4707人	5895人	増加	事業本数	6事業	10事業	現状維持	A		視覚のみならず，聴覚にも心地良い文化施設として，ミュージアムコンサート等を充実させていきたい。 子どもに限定した創作活動から生まれる触れ合いを体感できる事業の展開（アートバザール子ども版）

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進

			① 事業概要等［PLAN］																② 実施内容［DO］								③ 実施結果の確認［CHEAK］									④ 次年度以降へのフィードバック［ACTION］	
						①-3事業の目的														③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標									⑤自 己 評 価		
																											④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
［主な施策概要］【18】運営方法の点検等																																					
［事業の具体例］ ◆施設利用者を対象としたアンケート調査の実施 ◆施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証																																					
95	生涯学習課	長岡　一美	施設の維持管理［再掲］		◎						◎			◎			市民，詩を親しむ人	【富田砕花旧居の維持管理】 富田砕花が長年居住し，谷崎潤一郎も住んだことのある旧居の維持管理 【三条分室の維持管理】 文化財の整理事務所及び三条コミュニティ・スクールの活動拠点である三条分室の維持管理					生涯学習課	富田砕花顕彰会 三条地域協議会	5,270	活動団体数（三条）及び訪問者数（旧居）	400団体（旧居）	446団体（旧居）	増加					B	施設の老朽化に伴う整備等の管理経費の増加	コストパフォーマンスを考慮しつつ，より有効な施設の利活用を進める。
96	生涯学習課	長岡　一美	指定管理者制度導入施設の維持管理［再掲］		◎												市民	美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の施設設備の維持管理について，指定管理者と調整，連携し，良好に行う。					生涯学習課	指定管理者	118,318	調整会議実施回数			増加	計画外修理費用の額			減少	B	施設の老朽化に伴う整備等の管理経費の増加	コストパフォーマンスを考慮しつつ，より有効な施設の利活用を進める。

［基本的な施策］イ　学校施設，公共施設の活用

［主な施策概要］【19】学校施設，公共施設の活用																																					
［事業の具体例］ ◆学校施設，公共施設の文化活動の場としての活用																																					
97	管理課	小川　智瑛子	学校園施設目的外使用の使用許可		◎											交流機会の促進	教育，学術，文化及びスポーツに関する事業を行う団体	条例に定めるところにより，学校園施設の目的外使用の許可を行った。								目的外使用の許可件数	265件	226件	現状維持	対前年度比	166%	85%	現状維持	A	学校園の運営上支障がない範囲という原則を踏まえつつ，いかに市民のかたに活動の場を提供できるかという調整を図ること。	引き続き迅速かつ適正な事務処理に努めたい。
98	生涯学習課	長岡　一美	コミュニティ・スクール関係事業		◎						◎						市民	小学校を地域住民に開放し，自主的な文化活動・スポーツ活動や地域活動を行っている。地域に開かれた事業として，夏祭りや文化発表会等を実施している。	◎						3,175	登録団体数	302団体	291団体	増加	－	－	－		A	役員の固定化	各コミュニティ・スクールの委員長が集まるコミュニティ・スクール連絡協議会を中心とし，全体の課題の共有や円滑な事業運営の為の支援，組織の人材育成等の研修等を引き続き支援していきたい。

［基本的な施策］ウ　情報の収集等

［主な施策概要］【20】情報の収集等																																					
［事業の具体例］ ◆広報紙，ホームページや電子メールを活用した文化情報の提供 ◆保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用																																					
99	生涯学習課	長岡　一美	文化財関連事業の情報提供［再掲］		◎									◎			市民	文化財関連事業を開催する際には，市民に周知するために，事前に「広報あしや」及びホームページに案内を掲載している。	◎				広報国際交流課			「広報あしや」及びホームページの掲載率	100%	100%	現状維持	「広報あしや」及びホームページの掲載率（前年度比）	100%	100%	現状維持	A	文化財関連事業を一人でも多くの市民に周知する。	今後も文化財関連事業を開催する際には，一人でも多くの市民に知っていただけるように，「広報あしや」及びホームページ等に案内を掲載していく。必要であれば，新聞等のメディアも活用する。
100	美術博物館	長岡　一美	その他【広報】［再掲］		◎	◎	◎	◎			◎	◎					市民	・広報紙，ホームページ，ツイッター等様々な媒体による幅広い情報の提供	◎	◎	◎					総入館者数	27,540人	33,040人	増加	広報紙掲載件数	24件	24件	現状維持	A		事業毎に利用者アンケートを実施し，その二一ズの把握に努めると共に自己評価を行い，今後の事業展開に反映する等市民に親しまれる美術博物館を目指している。 収蔵資料等のデジタル化，データベース化を推進していきたい。
101	谷崎潤一郎記念館	長岡一美	その他【広報】［再掲］		◎	◎		◎		◎		◎					市民	・広報紙，ホームページ，新聞等様々な媒体による幅広い情報の提供	◎			新聞				総入館者数	13,570人	11,196人	増加	広報紙掲載件数	24件	24件	現状維持	A		青少年を対象にした分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって，谷崎文学を気軽に親しむきっかけとなることを目指す。 収蔵資料等のデジタル化，データベース化を推進していきたい。

［主な施策概要］【21】利便性の向上																																					
［事業の具体例］ ◆施設利用予約システムの運用																																					
102	市民センター	高田　浩志	市民センター管理運営［再掲］		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎					市民，市民センター利用者	全開室数　34,873室中，使用件数　15,649室 インターネットからの貸室の仮予約を引き続き実施。	◎						105,212	使用件数	14,897件	15,649件	現状維持					A		民間事業者への委託内容を精査し，今後も継続して実施する。 貸室管理をしているコンピュータシステムを他の施設とともに改修する。
103	図書館	丸尾　恵子	インターネット予約		◎												市民等	インターネット予約システムにカート方式を導入した。	◎			図書館HP			2,357	オンライン予約件数	97,181件	100,260件	増加	オンライン予約率	72%	74%	増加	A	利便性向上	利用しやすいシステム構築を目指す

［主な施策概要］【22】文化にかかわる資料，作品，情報等の保存																																					
［事業の具体例］ ◆市の文化施設における収蔵資料等のデジタル化，データベース化の推進																																					
104	生涯学習課	長岡　一美	収蔵品の管理		◎													美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の収蔵品の適正管理を行なう 適正な保存を行なうため，随時保存状態の調査確認を行い，収蔵品について，データーベース化を進める。					生涯学習課	指定管理者	92,717	データーベース化完成割合			増加	館外貸し出し作品等点数			増加	B	数，種類共に膨大（特に民族資料）で，専従職員も当てられないため，データベース化にはかなりの年月がかかる。	一朝一タには完成するものではないが，必要なものであるため，地道に，引き続き行っていく。
105	図書館	丸尾 恵子	資料の収集保存		◎												市民等	資料の収集保存を行った。				図書館HP			24,511	図書受入冊数	15,467冊	15,401冊	増加	図書受入冊数	15,467冊	15,401冊	増加	C	収蔵資料等のデジタル化推進	郷土資料等の電子化を検討していく。

平成26年度　芦屋市文化振興基本計画評価票　［施策の柱］③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進

			① 事業概要等［PLAN］															② 実施内容［DO］									③ 実施結果の確認［CHEAK］									④ 次年度以降へのフィードバック［ACTION］	
						①-3事業の目的													③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等			④評　価　指　標								⑤自 己 評 価		
																										④-1アウトプット（実施結果）				④-2アウトカム（得られた成果）						
NO	課　名	課長名	①事　業　名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	コミュニティの形成	市民活動の活性化	伝統芸能等に触れ合う機会	歴史に触れ合う機会	外国文化との交流	その他 ※具体的にご記入下さい	①-4 対象者（具体的に）	③H25年度 事業実施内容	市広報紙	まちナビ（文字データ放送）	あしやトライあんぐる（広報番組）	その他（取り上げられたメディア及び媒体の名称）	市（課名）	他の団体（団体名）	③-3 H25事業費（決算額：千円）	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	S：計画以上 A：達　成 B：概ね達成 C：できなかった	⑥課　題	⑦今後のビジョン
〔基本的な施策〕エ　文化活動に対する支援																																					
〔主な施策概要〕【23】活動している個人や団体に対して，より重点的・効果的な支援の充実 〔事業の具体例〕　◆芦屋市文化芸術活動助成事業の実施 ◆地域文化活動補助事業の実施																																					
106	市民参画課	福島　貴美	芦屋市芸術文化活動助成及び顕彰		◎		◎		◎							日ごろから芸術・文化に親しんでいる方	芦屋市民の芸術文化活動の助成を行い，また，顕彰又は表彰することにより，芸術文化活動の一層の振興を図った。	◎				学校教育課 生涯学習課		126	申請団体の数や事業数	7件19万円	4件10万円	現状維持					A	顕彰者の世代の幅を広げることを検討したい。	引き続き実施する。
107	生涯学習課	長岡　一美	社会教育関係団体支援・育成事業〔再掲〕		◎							◎				社会教育関係団体	市PTA協議会等13団体への事業運営支援として補助金を交付した。 社会教育関係団体の追加登録を実施した。 「社会教育関係団体の地域での役割」をテーマに研修会を行った。							2,782	研修参加者数	189人	231人	増加	研修満足度	―	85.07%	増加	B	社会教育関係登録団体の地域貢献に対する意識を持ってもらう。	各登録団体の意識が高まり，より活発な活動と地域への貢献ができるよう支援する。
108	生涯学習課	長岡　一美	芦屋市文化遺産継承・活性化事業〔再掲〕	◎									◎			市内の文化遺産を継承している団体	市が実施計画を策定し，実行委員会が平成25年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）交付を申請した。補助金額は，9,492千円。				読売新聞，神戸新聞		芦屋市文化遺産継承・活性化事業実行委員会	9,492（補助金）	申請件数	0件	1件	現状維持	申請件数	0	100	現状維持	A	補助事業がいつまで継続するのかがわからない。	今後も補助事業が続くのなら，市内の文化遺産を継承する団体に対して活動を支援できるように，事業を継続する。
〔基本的な施策〕オ　文化活動に対する民間支援活動の促進																																					
〔主な施策概要〕【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進 〔事業の具体例〕　◆寄附税制等に関する周知 ◆文化団体への寄附の促進 ◆企業メセナ等に関する情報の提供																																					
109	市民参画課	福島　貴美	市民参画・協働の仕組みづくりの推進		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市民	あしや市民活動センターにおいて，企業メセナ等に関する情報の提供や，NPOなどへの寄附税制の案内を行っている。	◎		◎				16,813	利用者数	1,351団体 5,990名	2,106団体 14,444名	現状維持					A	パブリックコメントを引き続き，周知する。	策定を進めている第2次市民参画協働推進計画に基づき引き続き，市民参画協働を推進する。
〔基本的な施策〕カ　顕彰の実施																																					
〔主な施策概要〕【25】顕彰の実施 〔事業の具体例〕　◆市民文化賞による表彰の実施 ◆富田砕花顕彰事業の実施																																					
110	市長室	今石　佳太	芦屋市民文化賞		◎							◎				主に市内で活動する個人又は団体	文化の高揚・生活の向上に貢献した功績が顕著な者に対し，文化賞を贈ってこれを表彰することにより，市民文化の向上発展をはかることを目的とする。	◎				市民参画課 スポーツ推進課	菊寿会	228	受賞者	3人	1人	増加	受賞率（%）	100%	50%	現状維持	A	潜在候補者の発掘	候補者の対象を広く照会し，在候補者の積極的な発掘を行うことにより，市民文化賞に最適な受賞者の選定をおこなうことにより，本市における更なる文化の向上発展を図りたい。
111	生涯学習課	長岡　一美	富田砕花顕彰〔再掲〕		◎	◎										市民，詩を親しむ人	【富田砕花賞の贈呈】 「詩人　富田砕花」の業績を顕彰するため，富田砕花顕彰会との共催により，公募した詩集の中から，優れた詩集に対し富田砕花賞を贈呈。 【旧居での展示】 富田砕花が長年居住し，谷崎潤一郎も住んだことのある旧居での，砕花ゆかりの資料等の展示公開 【富田砕花顕彰会講座】 富田砕花顕彰会による講座の実施 5月：厲目散歩（富田砕花遺稿詩集）をテーマとした講座を開催 9月・11月「兵庫讃歌」をテーマとした講座を開催	◎	◎		県芸術文化協会誌「すずかけ」 土曜美術出版「現代詩手帖」，同人誌「半どんの会」 日本書籍出版協会「出版広報」 阪神南県民局広報誌 読売新聞大阪文化部「記事」 同人誌「Messier」に応募要項折込		富田砕花顕彰会	595	応募詩集数	93	90	現状維持	応募都道府県数	57%	62%	現状維持	B	中長期で見た場合応募詩集の数が，減少傾向が続いているので増加，又は，現状維持をする。	富田砕花賞実施の広報先を増やすことで，応募詩集数を増加させる。